

平成26年度 事業報告

○公益社団法人下松市シルバー人材センター

1 概況

我が国の経済は、政府の経済対策により、緩やかな回復傾向にあるとされてものの、円安による物価上昇など依然として先行き不透明な状況にあります。

また、少子高齢化が急速に進展し、生産年齢の人口が減少する一方、老年人口が増加の一途をたどっており、長年培ってきた知識や経験、技能を活用し、就業機会の確保と提供を行うシルバー人材センター（以下「シルバー」という。）の役割はますます重要になっています。

しかしながら、シルバーを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進等による受注金額の減少、定年延長及び継続雇用制度の法制化に伴った入会会員の伸び悩みなど厳しい状況に置かれています。

このような状況を踏まえ、当センターにおいても、会員・役職員が一丸となり、地域社会からのご理解・ご協力を得ながらシルバー事業の推進を図るとともに、就業基盤の拡大に鋭意努めてまいりました。

以下、平成26年度事業実施概要について報告します。

(1) 会員の動向

会員の状況は、年度末会員数558人（男性353人、女性205人）となり、前年度の598人（男性会員375人、女性会員223人）と比べ40人の減となりました。

(2) 事業実績

受託事業の事業実績は、受注件数2,745件で、前年度の2,724件に対して、21件の増、契約金額は約2億6,168万円で、前年度の約2億7,787万円から約1,619万円の減となりました。

また、一般労働者派遣事業については、受注件数63件で、前年度の54件に対して、9件の増、事業実績は12事業所へ49人の会員を派遣し、契約金額約2千998万円で、前年度の約2,952万円に比べ約46万円の増となりました。

受託事業及び一般労働者派遣事業の合計が約2億9,166万円で、前年度の約3億739万円から約1,573万円の減となりました。

なお、収支決算については、経常収益と経常外収益の合計が約3億924万円、経常費用計が約3億907万円で、約17万円の収益増となりました。

就業率については、94.4%となり、前年度の89.3%から5.1ポイントの増となりました。

無料職業紹介事業は、該当者があませんでした。

(3) 組織体制の充実強化

「第二次中期基本計画」の初年度に当たり、当該計画に沿った課題11項目の取り組みを推進するため、各職群班の会議等を開催し、会員の自主性と主体性を促進するとともに、組織の活性化に取り組みました。

昨年度から開始した「地区懇談会」を定期的に開催し、地域班活動の目的に沿った取り組みを進めました。

また、地域班長及び副班長により、会報「星のさと」「事務局だより」「安全だより」等を配布し、連帯意識の高揚を図りました。

除草清掃等の「共同作業」を実施し、未就業会員が一人でも多く就業する切っ掛けとなるように取り組みました。

独自事業として、前年度に引き続き、正月飾り製作班の輪飾り・門松づくり、ハーブの会の軽食・スイーツづくり、布倶楽部の布製品づくり、木工品製作班、ふれあいシルバー農園班の各事業を継続実施し、相変らず多方面から好評を得て、事業実績は、ほぼ昨年並みに推移しました。

(4) 就業開拓

就業開拓委員会の取り組み事業の一環により、シルバー事業のPRを行うとともに、就業情報を収集し、就業機会の開拓に努めました。また、就業機会創出員により、官公庁、民間企業及び一般家庭等を逐次訪問し、就業機会の創出に努めました。

「地区懇談会」の開催を契機として、会員からの情報提供による就業開拓の創出に努めました。

(5) 普及啓発活動

市の広報誌やマスメディアを活用し、シルバー事業の普及啓発及び就業機会の拡大を図りました。また、普及啓発促進月間中の10月18日(土)には、市内一部の地域を対象に、啓発用パンフレットの各戸配布を行うとともに、市内中心部を対象に、道路清掃等のボランティア奉仕作業を実施しました。

また、11月1日(土)に、「第6回いきいきシルバーまつり」11月5日(水)「第6回グラウンド・ゴルフ大会」をそれぞれ開催し、一般市民とのふれあいの場を設けるとともに全体の意思疎通及び普及啓発に努めました。

(6) 安全・適正就業の確保

安全就業については、安全委員会及び安全パトロールを逐次実施し、安全への周知徹底と意識の高揚を図りました。

また、安全・適正就業啓発の一環により、7月12日(土)には、“スターピアくだまつ”において、「安全・適正就業推進大会」を開催し、3月1日(日)には、“きらぼし館”において、「会員研修会」を開催しました。

「事故ゼロ」を目標に掲げ、積極的に取り組みましたが、物損事故が3件発生しました。傷害事故は、会員一人一人の自主努力により、発生しませんでした。

適正就業については、請負・委任に適合しないとみなされる受注に対し、事業所の個別訪問を実施し、一般労働者派遣事業への移行をお願いするなど、基準に沿った運営の推進に努め、事業実績は大幅に増額となりました。

(7) 福利厚生

会員相互の親睦交流を図るため、3月1日(日)には、研修会と併せて会員親睦会を開催しました。また、3月15日(日)には、会員独自による「日帰り親睦旅行」が実施され、それぞれ交流を深めました。

一方、会員の各同好会活動に対し、活動場所の提供など側面的な援助を行いました。

○ 下松市勤労者総合福祉センター

1 概 況

(1) 施設の利用促進

改めて平成26年度に、指定管理制度の指定を受けたことを契機として、センターの有効かつ公平な利用を図るため、市をはじめ各関係団体及び一般市民の協力を得ながら利用者の増加に努めました。

(2) 施設の維持管理

築後26年以上経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。このような中、良好な維持管理を継続していくため、日常点検及び各専門業者による点検委託を実施するとともに、老朽箇所の修繕・補修を行いました。

特に、灯油を利用した空調設備を電気を利用した設備への改修工事を実施し、コスト面等の効率化を図った。

(3) 施設の利用状況

①体力づくり

体力増進、健康保持のため、スポーツ教室の開催及び卓球、バドミントンなどスポーツの場としての利用を図りました。

②教養文化

書道、きもの着付け、大正琴等各種講座の開催及び毎年恒例の囲碁・将棋大会を9月 日（日）に開催しました。

(4) 就業支援

ハローワークの求職情報を掲示するとともに、技能講習会場としての活用に努めました。